

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和6年度病虫害発生予報第2号を発表します。

令和6年度病虫害発生予報第2号

向こう1か月の病虫害発生予想

| 作物名 | 病虫害名 | 発生予想 | 発生現況 |
|-------|----------------|------------|------------|
| 水稻 | いもち病(葉いもち) | 平年並 | 平年並 |
| | ヒメトビウンカ | 平年並 | 平年並 |
| なし | 黒斑病 | やや多 | やや多 |
| | ハダニ類 | 平年並 | 平年並 |
| | アブラムシ類 | やや少 | やや少 |
| 野菜等共通 | ハスモンヨトウ | 平年並 | 平年並 |
| | シロイチモジヨトウ | 平年並 | 平年並 |
| 果樹等共通 | 果樹カメムシ類 | 多 | 多 |

太文字の病虫害:向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報
(6月8日から7月7日までの天候見通し)

令和6年6月6日
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

| 近畿地方 1か月予報 (06/08~07/07) | | |
|------------------------------|-----|---------------------------------|
| 2024年06月06日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
| 向こう1か月 06/08~07/07 | 天候 | 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 |
| | 気温 | 平均気温は、高い確率50%です。 |
| | 降水量 | 降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。 |
| 1週目 06/08~06/14 | 気温 | 1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。 |
| 2週目 06/15~06/21 | 気温 | 2週目は、高い確率50%です。 |
| 3~4週目 06/22~07/05 | 気温 | 3~4週目は、高い確率50%です。 |

| 気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) | | | |
|------------------------|--------|-----------------------|--|
| 気温 | 近畿地方 | 向こう1か月 06/08~07/07 | |
| | | 1週目 06/08~06/14 | |
| | | 2週目 06/15~06/21 | |
| | | 3~4週目 06/22~07/05 | |
| 降水量 | 近畿太平洋側 | 向こう1か月 06/08~07/07 | |
| | 近畿日本海側 | 向こう1か月 06/08~07/07 | |
| 日照時間 | 近畿太平洋側 | 向こう1か月 06/08~07/07 | |
| | 近畿日本海側 | 向こう1か月 06/08~07/07 | |

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

根拠中の記号

- (+) : 発生量を多くする要因
- (-) : 発生量を少なくする要因
- (±) : 発生量が平年並になる要因

水稻

1 【いもち病（葉いもち）】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）（-）
気象予報 気温は1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（+）
降水量は平年並～多い（+）

2 【ヒメトビウンカ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（±）
降水量は平年並～多い（-）
*発生現況は麦における発生量

なし

1 【黒斑病】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（+）
気象予報 気温は1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（±）
降水量は平年並～多い（+）

(3) 防除上の留意点

ア 園地を定期的に見回り、落下した果実・病葉は園外に持ち出し処分する。

イ 梅雨期は発病まん延期にあたるため、薬剤散布間隔を短くし、防除を徹底する。

ウ 農薬散布時は、薬液が十分かかるように不要な徒長枝を切り落とすこと。

エ 袋かけ前は黒斑病の重点防除時期なので、ていねいに薬剤散布する。

オ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に農薬使用基準を守る。

カ 令和6年度病虫害発生予察防除情報第4号（令和6年6月10日発出、
<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1072>）を参考とする。

2 【ハダニ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（±）
降水量は平年並～多い（-）

3 【アブラムシ類】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 やや少（－）
気象予報 1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（±）
降水量は平年並～多い（－）

野菜等共通

1 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）
気象予報 1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（±）

2 【シロイチモジヨトウ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）
気象予報 1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（±）

果樹等共通

1 【果樹カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 **多**
- (2) 根拠：発生現況 予察灯、フェロモントラップへの誘殺数は多（+）
気象予報 1週目は平年並～低く、2週目以降は高い（±）
その他 チャバネアオカメムシ等果樹を加害するカメムシ類の発生量には隔年性があり、本年は発生が多い年に該当する。越冬世代の飛来は、例年であれば6月に減少傾向がみられるが、フェロモントラップへの誘殺数は多い状態が続いているため、果樹園への飛来も続く可能性がある。

(3) 防除上の留意点

- ア 無袋栽培の園地では、発生や被害を認めたら速やかに防除する。
- イ 有袋栽培であっても、果実の肥大時期には果実と袋が密着して外部から吸汁されるおそれがあるため、注意する。
- ウ 定期的に園を見回り、飛来状況の把握に努める。
- エ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。
- オ 令和6年度病害虫発生予察注意報第1号（令和6年5月2日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1072>）及び同防除情報 第3号（令和6年5月28日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1084>）を参考とする。

防除上の留意点に記載している内容のほか、兵庫県総合防除計画を参照してください。

* 兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

* 病害虫・雑草防除指導指針 農薬の検索は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/noyakusearch/hyogo>

* 病害虫・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

2022年3月1日より「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)を開設しています。
発生予察情報など病害虫に関する情報を提供しますので、是非フォローお願いします。

Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

